



## ロンドンからのお客様

近畿支部会員 奈良市在住

2015年11月11日JR奈良駅でロンドンから来たB&A H(名前略記)夫妻と待ち合わせした。Nice to meet youの挨拶の後すぐに近鉄奈良駅までバスで向かってここで荷物を置く。だが今は中国人観光客の増大で駅のコインロッカーは満杯。すかさず自転車置き場で荷物を預かってくれる所へ持って行く。いつもならここから東大寺へ行くのだが、その日は少しコースを変えてならまちへ。昼ごはんの予約より少し早く着いたため、春鹿の酒造会社で5種類の日本酒の試飲を。慎重にBは味わっていたが純米大吟醸が一番おいしかったとの事で、早速それを購入。其の後隣の今西家書院でお食事。ここは古い屋敷で武家方がいらっしゃった所で、秋篠宮ご夫妻もお越しになった所。いつもならビジターに負担をかけさせないため昼食は1500円以内と決めているが、この日は少し高く入館料込みで2700円。お料理は順に出てくる懐石だがここで私のミス。Aはベジタリアンでそれをメールに書いていたのだが、私が読み落としたのだった。お料理は見た目は精進料理っぽいが、だしが鰹を使ってあったりつくねが入っていたりとかで、Aは半分ほどしか食べられず、皆Bが代わりに食べてくれた。それでこのAの分は私が支払うことにした。いつもは外食は割り勘にしている。其の後東大寺へタクシーで。というのも東大寺は16時で入館出来ない事になっているからだ。彼らはあの大仏とたくさんの鹿に大満足。仏像の見方を説明したら少しずつわかるようになった。

其の後学園前にある西部公民館という所で英語クラブへ。これはNPO法人EU協会が主催していて毎月一度英語をしゃべる人を呼んで彼らの国やライフについて語ってもらうというもの。出席者は皆日本人だが英語は達者で、B&A夫妻は熱心にイングランドについて語ってくれた。Bがアイルランド出身だったので皆イングランドとアイルランドの関係に興味津々。質問が飛び交った。それが済んだら東京へ単身赴任している主人が車で迎えに来てくれて一路我が家へ。始め夕食はボンゴレスパゲッティにするつもりだったが、Aがベジタリアンなので急遽なすとトマトのスパゲッティに変更。後ポタージュスープと野菜サラダの簡単な料理に日本酒、ワイン、ビールを入り混じりに4人で飲みその日は終了。

次の日は朝早く起きて談山神社へ紅葉を見に。しかし何と季節が早すぎて紅葉はさっぱり。I am sorryという私にDon't mindで笑ってくれた。朝早く出たため奈良に早く帰れたので春日大社へ。ついでに若宮神社なども巡った。こういう小さな社がたくさんある所が私は好きなのだが、外国人にとってはどうなんだろう？ 散歩の途中で志賀直哉邸の近くにある私の知人が経営しているカフェ「たかばたけサロン」で一息。そしてその夜は外食。又々ならまちの一日二組しか取らないという家族経営のお店「うとうと」へ。ここは本当に儲けを度外視して趣味でやっている。値段は2000円。お酒の持ち込みOK。お料理は手作りの家庭料理を次から次へと運んでくれる。ベジタリアン用に野菜だけで料理してもらった。ワインを買っていくのを忘れてたら、近くの店で買ってきてそのままの値段にしてくれる。もう満腹で最後の炊き込みご飯は入らなかった、最後は薄茶の御手前で。其の後がおもしろい。お店のオーナーが何でも鸚鵡返しにしゃべる人形を披露してくれると彼らは大喜び。英語を言うとすっかり英語その通りで返ってくる。これに3人で大笑い。Bはこれが欲しいと言い出してオーナーのを譲ってもら

って買った。所がもう一つ人にあげるのに欲しいと言うので、12月にこの人形が入るので後で送ってあげると約束。2人は次の日広島へ旅立って行った。奈良は満足してくれただろうか？